

12/1(月)から冬休み前長期貸出開始

冬の様相がみえはじめてきた今日この頃ですが、皆さん、いかがお過ごですか？コロナやインフルエンザ等でお休みしている生徒もけっこういるようです。雪がちらほらと降り、冷え込みを感じる季節となりました。上着をしっかりと着て、体調管理をしっかりとしてください。

冬休み期間中、じっくりと本の世界にふれることで、心の栄養をたくわえて、充実した日々を過ごしてほしいと思います。寒い日々が続く今、家の中で落ちついて読書ができる季節になりました。たくさんの新刊もはいる予定です。1人5冊、1月19日(月)まで借りられます。どうぞ気軽に図書室へきてください。

12月の新着予定本(全44冊)※今年度最後の購入になります。



Farm to Table

シェフが愛する百姓・浅野悦男の365日
浅野悦男、成見智子/平凡社



農業歴60年以上。スーパーでは見かけることのない野菜やハーブ、食べられる花などを栽培し、飲食店に直接届けている浅野悦男。畑から食卓へ、ひと続きとなる道を拓いた先駆者だ。その一年の仕事をたどり、シェフたちとの交流をとおして磨かれた農業哲学の一端をひもとく。



殺し屋の営業術/野宮有/講談社

武器は、話術、度胸、論理。営業成績第1位、契約成立のためには手段を選ばない、凄腕営業マン・鳥井。深夜のアポイント先で、刺殺体を発見する。口封じとして消されそうになるが、「あなたは幸運です。私を雇いませんか？」この命に代えて、あなたを救って差し上げます」と、殺し屋に語り出す。常識を覆す発想から走り出す、ジェットコースター・ミステリー！ ※第71回江戸川乱歩賞受賞



シモーヌ・ヴェイユ まっすぐに生きる勇気/
シモーヌ・ヴェイユ/鈴木 順子【編訳】/

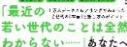
ディスカヴァー・トゥエンティワン

信念に従い行動し続けた哲学者に学ぶ困難を乗り越える力。



コミュニケーション

大全



Z世代コミュニケーション大全/

松下東子、梅畑友理菜/東洋経済新報社

すぐ違いポイントや「こうしてほしい」「こんなつもりだった」といったZ世代とのコミュニケーションのコツをまとめた1冊。

他に



- ・観光地ぶらり/橋本倫史/太田出版
- ・柚木沙弥郎 旅の手帖 中世美術に憧れて/柚木沙弥郎/平凡社
- ・柚木沙弥郎 旅の手帖 布にめざめたインドの旅/柚木沙弥郎/平凡社
- ・猫の都イスタンブルに住んでみた/アジアねこ散歩/ハーパーコリンズ・ジャパン
- ・明けても暮れても食べて食べて/はらぺこめがね/筑摩書房
- ・黒部源流山小屋料理人/やまとけいこ/山と渓谷社
- ・人間の心が分からなかった俺が、動物心理学者になるまで/岡ノ谷一夫/新潮社
- ・戦場で笑う 砲声響くウクライナで兵士は寿司をほおばり、老婆たちは談笑する/横田徹/朝日新聞出版
- ・AIに看取られる日 2035年の「医療と介護」/奥真也/朝日新聞出版
- ・デモクラシーのいろいろ/森絵都/KADOKAWA
- ・うさぎのふるひ/ティエホウ 他/パイインターナショナル
- ・在る。SOGI支援医のカルテ/前川ほまれ/KADOKAWA
- ・師匠はつらいよ(2)藤井聰太とライバルたち/杉本昌隆/文藝春秋
- ・ミスター・チームリーダー/石田夏穂/新潮社
- ・ヤバくない？ネコなら速攻にげてるよ/Jam/角川春樹事務所
- ・マーモットのまち/ドクターマーモット/パイインターナショナル
- ・私労働小説 負債の重力にあらがって/ブレイディみかこ/KADOKAWA



虚池空白(うろいけくじら)の自由律な事件簿
森晶磨/集英社

自由律俳句の伝道師、俳人・虚池空白と、編集者の古戸馬は、本企画のため、世の中の落書きや看板などに落ちている言葉を、詠み人知らずの名句(野良句)として集めている。彼らが手にした(野良句)の裏に潜む人間の愛憎や秘密、時にはある犯罪を二人が解き明かしていく。極上の俳句ミステリー誕生！



ベルは破り方が9割/カレー沢薰/小学館

ベルはいつの間にか「破れている」ものなのだ。前代未聞&唯一無二のカレー沢流「自分を嫌いにならずに生きる極意」



白魔の檻/山口未桜/東京創元社

研修医の春田は実習のため北海道へ行くことになり、過疎地医療協力で派遣される城崎と、温泉湖の近くにある山奥の病院へに向かう。ところが二人が辿り着いた直後、病院一帯は濃霧に覆われ誰も出入りができない状況になってしまいます。そんな中、院内で病院スタッフが変死体となって発見される。さらに翌朝に発生した大地震の影響で、病院の周囲に硫化水素ガスが流れ込んでしまう。過疎地医療の現実と、災害下で患者を守り共に生き抜こうとする医療従事者たちの極限を描いた本格ミステリ。



介護未満の父に起きたこと/

ジェーン・スー/新潮新書

82歳の父が突然ひとり暮らしに。唯一の家族である娘は、毎食の手配から大掃除までをあえてビジネスライクにサポート。それでも日々体力と記憶力が衰える父に「ペットボトルが開けられない」などの難題が次々とふりかかる。老人以上、介護未満の身に何が起きるのか？その時期に必要な心構えは？父のケアに奔走した娘が綴る、七転八倒の5年間。

10月末クラス別利用状況



クラス 学年	1組	2組	3組	4組	職員	計	総計
1年	0	0	0	2	/	2	22
2年	0	0	0	0	/	0	
3年	0	5	2	0	/	7	
職員	/	/	/	/	13	13	